

I. 大会実行委員会からのお知らせ

1. 日本科学哲学会第38回(2005年度)大会[場所: 東京大学・駒場キャンパス]のプログラムについて

今年度大会のプログラムは、以下を予定しています(研究発表の開始時刻、ワークショップ題目等の変更がありうることをご了解下さい)。

12月3日(土)

研究発表(9:30-12:00)

理事会・評議会・大会実行委員会(12:00-13:15)

総会(13:15-13:45)

特別講演(14:00-15:00)

講演者 金子邦彦(東京大学総合文化研究科教授)

題目 複雑系としての生命: シンボル化される以前の普遍的性質

司会 野本和幸(創価大学)

シンポジウム(15:15-17:45)

相対性理論 100年

司会 渡辺博(中央大学)

提題者 内井惣七(京都大学)、勝守真(秋田大学)、田中裕(上智大学)

懇親会(18:00-20:00)

12月4日(日)

ワークショップ(10:15-12:30)

・ 自己同定とは何か?

オーガナイザ・司会 金杉武司(高千穂大学)

提題者 塩野直之(福井県立大学)、福田敦史(慶應大学)、浪岡淳

・ 20世紀科学哲学史: 論理実証主義とプラグマティズム(仮題)

オーガナイザ・提題者 蟹池陽一(東京大学)

提題者 齋藤直子(京都大学)、中村正利(高崎健康福祉大学)

理事会・評議会・大会実行委員会(12:15-13:20)

研究発表(13:30-14:30)

ワークショップ(14:45-17:00)

・ 設計 = デザインの哲学

オーガナイザ・司会 直江清隆(山形大学)

提題者 金森修(東京大学)、石原孝二(北海道大学)、河野哲也(玉川大学)

・ 不確実性の論理 - 確率と曖昧性 -

オーガナイザ・提題者 一ノ瀬正樹(東京大学)

提題者 鈴木聡(駒澤大学)、出口康夫(京都大学)

2. 研究発表者の募集について

今年度大会で研究発表の希望者を募ります。希望される方は、発表要旨[B5版要旨1枚にワープロで800字程度、上部に題目、氏名、所属を明記のこと - ご提出頂いた原稿そのまま予稿集の版下とします -]添付の上、9月1日(必着)までに事務局宛にお申込下さい。採否ならびに発表日の通知は、9月20日頃に郵送で行います。

3. プログラムの発送について

プログラム、出張依頼状、会場周辺図(附:交通案内)は、例年通り大会のおよそ1ヶ月前、11月初旬に発送の予定です(ワークショップ資料は、ホームページに掲載の予定です)。

II. 編集委員会からのお知らせ

編集委員長 佐藤徹郎

1. 『科学哲学』38巻2号(2005年12月発行予定)の特集テーマについて

ニュースレターNo.29でお知らせした、次号の特集テーマ「フレーゲの現代性」への応募論文は、2005年7月11日をもって締め切りとなりました。ただし、自由応募論文としてこのテーマに関連する論文をご投稿いただくことは、引き続き可能です。その際、次号に掲載可能な期限内で審査を終えることができない場合がある点をご承知おき下さい。

2. 自由応募論文について

自由応募論文は常時受け付けています。なお「論文応募要領」3にある通り、論文本体(これはレフェリーに転送されることとなります)には論文タイトル(日本語と英語)と英文要旨のみを付けることとし、著者氏名と所属については、別に添付した表紙に記して下さいようお願い申し上げます。

III. 事務局からのお知らせ

[訂正] 前回のニュースレターの「訃報」で、石本新氏につき「名誉会員の」といたしましたが、誤りでした。ご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

日本科学哲学会ニュースレター No. 31 2004年7月20日

編集兼発行 日本科学哲学会

事務局 〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1
東京都立大学人文学部哲学科内 日本科学哲学会
Fax. 0426-77-2073 [宛名「日本科学哲学会」明記のこと]
e-mail. philsci@comp.metro-u.ac.jp

URL. <http://wwwsoc.nii.ac.jp/pssj/index.html>

印刷 文成印刷 〒168-0062 東京都杉並区方南1-4-1